

絆



～ ご挨拶 ～

基里には、先人から培ってきた多くの財産があります。交通の要衝である地の利、豊かな緑、そして実りをもたらす川。どれも基里を故郷として思いだす貴重な財産ですが、最も誇れる財産は、地域の絆の強さではないでしょうか。

子どもから大人まで一緒になって地域を守っていく、そういう気質が息づいているすばらしい地区です。しかし、高齢化や核家族化という課題は基里においても例外ではありません。

今後、皆さんと一緒に地域のよさを守りながら、一方では時代の変化に対応していく必要があります。

このような背景のもと、地域のよりよい連携と課題解決を図るため、平成23年6月に基里地区まちづくり推進協議会を立ち上げました。

この協議会の活動方針である推進計画を作るにあたり、区長会、民生委員児童委員協議会をはじめ、多くの地域団体の皆さまと議論を重ね、また、多くの方々にアンケートのご協力をいただきました。

その過程で出てきた、様々な意見をもとに、基里の現状、達成したい将来像、解決すべき課題、これらをどう地域で取り組んでいくかをまとめたのがこの計画書です。

この計画は10年間という長い期間を想定して作っていますがこの計画が現時点で完成ということではなく、地域の皆さまと一緒に、これから更によりよいものにしていかなければなりません。

基里で生まれ、基里で育ち、基里で暮らしていることを誇りに思える、そんな地区にするため、地域が一体となって絆を継承し、幸せて豊かなまちをつくりあげていくことを願い、ご挨拶とさせていただきます。

基里地区まちづくり推進協議会 会長 小石 正明

基里地区まちづくり推進計画 目次

1	はじめに ～まちづくり推進計画の必要性と期間～	1
2	基里の概要	
	(1) 現状	2
	(2) 基里現状マップ	4
	(3) 歴史	5
	(4) アンケート等から考える基里の現状	
	1) アンケートの概要	7
	2) 地域に対する意識	8
	3) 基里の長所	9
	4) 基里の課題	10
3	基里の将来像	11
4	まちづくり基本計画	13
5	まちづくり基本計画の実現に向けて	15
6	参考資料	17

1 はじめに ～まちづくり推進計画の必要性と期間～

(1) 基里地区まちづくり推進計画の必要性について

基里地区まちづくり推進計画とは、地区の現状と課題をふまえ、10年後（平成34年度）の基里地区の将来像を明らかにした上で、その将来像を実現するために、まちづくりの基本計画を定めたものです。

まちづくりの目的は、全ての住民の皆さんが安全安心な、そして、住んでよかったと思える地域を築き上げることです。

安全安心に暮らせる環境をつくるためには、自然環境の保全や防災、防犯、福祉等の生活環境の整備が必要ですし、また、住んでよかったと思える地域にするためには、経済的物質的な豊かさだけでなく、健康で心安らぎ、潤う生活のための生涯教育や地域で支え合う環境などを整えていくことが必要です。

そのためには、住民同士が地域の現状を話し合い、地域の長所と課題を共有し、自分たちで目標をつくり、その実現に向けて協力し、自分達で出来ることをひとつひとつ解決していく必要があります。そうすることで、地域住民がお互いの絆を強めあい、住みよい地域づくりに積極的に参加して取り組むことにつながり、今までより更に住みやすい基里地区が生まれます。

計画策定にあたっては、地域の皆さんにお願いしたアンケートを基に、様々なグループの皆さんと話し合いを重ねました。この計画により、10年後の将来像を地域全体で共有し、基里地区まちづくり推進協議会の活動が地域に広まっていくことが期待されます。

(2) 推進計画の期間について

この推進計画の期間は、平成24年度から平成33年度までの10年間とします。ただし、計画期間の途中で状況により見直すことがあります。



2 基里の概要

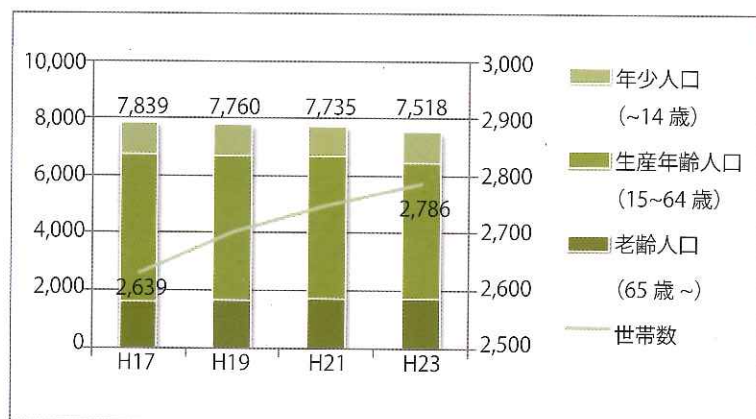
(1) 現状

基里地区は鳥栖市の東部に位置し、南北に長い地形です。地区の北部は九州交通の要衝である鳥栖ジャンクションがあり、さらに物流団地などに企業が集積しています。一方、南部は豊かで平坦な田園地帯が広がり、また、主に国道3号沿線を中心に住宅地が広がっています。

私達の住む基里地区の概要については以下の通りです。

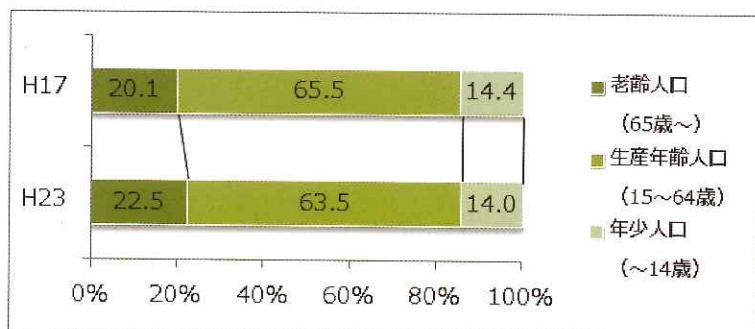
1) 地区人口・世帯数

○年齢別人口と推移（単位：人・世帯）



総人口はゆるやかに減少しており、特に15~64歳の生産年齢人口が減少しています。一方、世帯数は増加しており、核家族化が進んでいます。

○年齢構成割合の推移（単位：%）



高齢人口（65歳以上）の割合が増加しています。団塊世代の高齢化により、今後この割合は急速に増加していくと考えられます。

○鳥栖市の昼夜間人口（単位：人・%）

区分	平成17年	平成22年
常駐人口（夜間人口）	64,706	69,074
昼間人口	73,502	76,834
昼夜間人口比率	114	111

（参考：国勢調査）

鳥栖市は企業が多く、他の市町から多くの人々が通勤してくるため、昼間の人口が夜間の人口より多い状況です。企業が多数ある基里地区においても、同じく昼間人口が多いと想定されます。

2) 主要幹線・施設など

主要幹線 九州自動車道、長崎自動車道、大分自動車道、
国道3号、国道500号、JR鹿児島本線

主要河川 宝満川、大木川、秋光川、山下川

教育機関 基里小学校、基里中学校、白鳩保育園、
レインボー保育園、若竹幼稚園、
九州医療福祉専門学校（桜町キャンパス、松原町キャンパス）

公共施設等 基里まちづくり推進センター、基里まちづくり推進
センター分館、基里体育センター、基里運動広場、
曾根崎交番、消防団第2分団格納庫、各町区公民館

医療機関 石橋整形外科、かわらハートクリニック、きざと外科医院、
啓心会病院、玄々堂内科、こやなぎ内科循環器科クリニック、
鳥越脳神経外科クリニック、野下医院、こが歯科、
中川歯科医院、中富歯科医院、山口歯科医院

その他主要施設 基里郵便局、JA さが東部支所基里支部、
マックスバリュくらし館曾根崎店



3) 行政区

酒井西町、酒井東町、曾根崎町、水屋町、飯田町、
原町、姫方町、幡崎町、桜町、松原町

4) 主な行事

春 春の社日、春の祭典・獅子舞、藤祭り、春祭り祭典、
春の山王宮祭り、お粥占い、天満神社春季例大祭

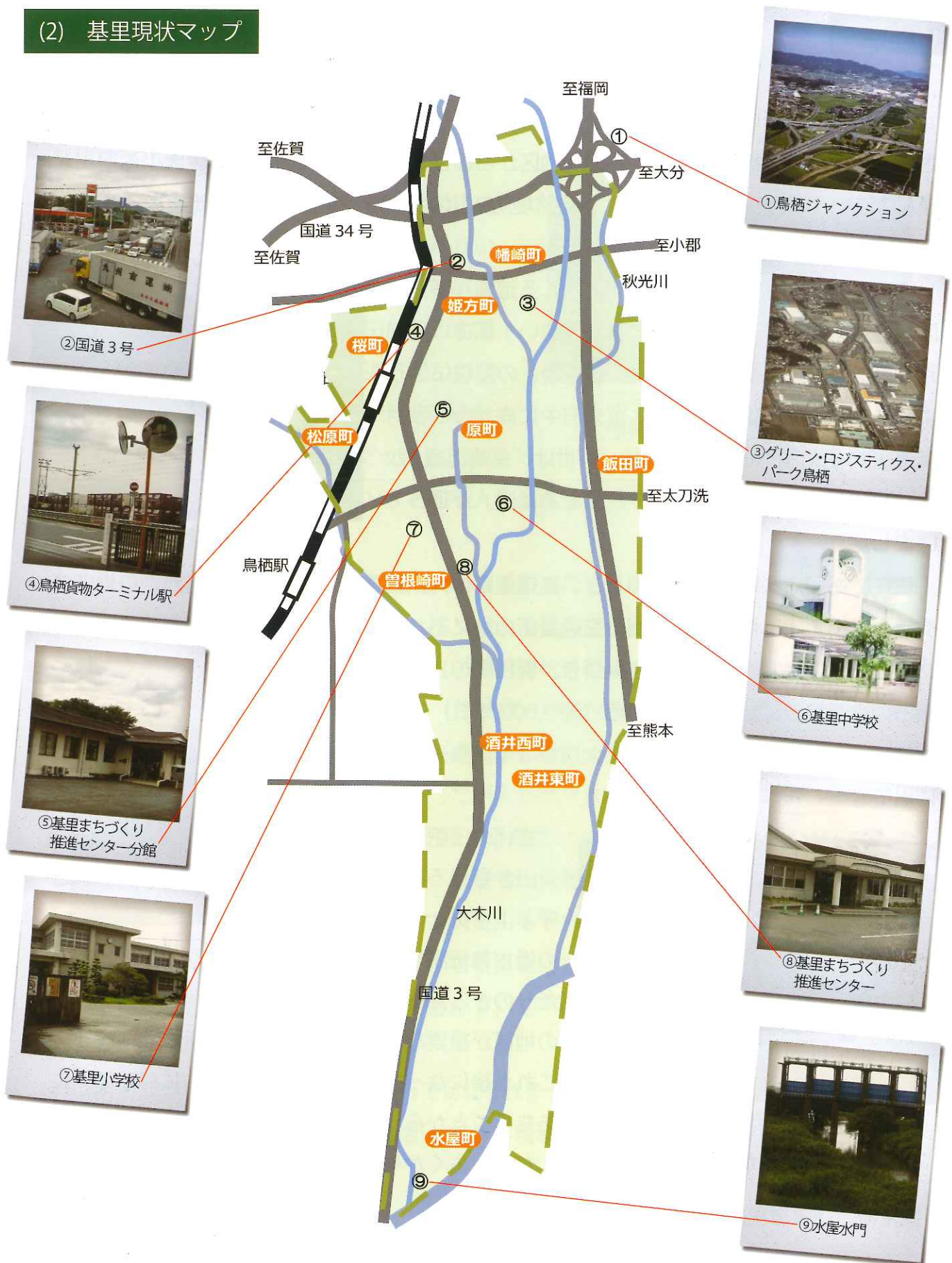
夏 夏祭り、井堰祭り、田植願成就、根付願成就、さなぼり願成就、
夏越願成就、風止願成就、初秋願成就、七夕祭り、戦没者追悼法要

秋 敬老会、運動会、社日祭、子ども相撲、秋祭り祭典、秋の大祭、七五三会、
秋の天満宮祭、放生会願成就、八幡神社放生会、天満神社秋季例大祭、
日吉神社申祭

冬 歩こう会、基里文化祭、元旦祭、新年祈願祭、ほんげんぎょう、
宮座（日吉神社・天満神社）

通年 いきいきサロン、清掃活動、廃品回収、ふれあい会食会、防災訓練

(2) 基里現状マップ



(3) 歴史

基里地区は鳥栖市の東部にあたり、東は福岡県小郡市に南は宝満川（昔の筑後川）をはさんで久留米市と接しています。田代地区からのびてきた丘陵の先端部と、大小の河川が運んできた土砂が堆積した微高地（自然堤防）上に8ヶ所の集落（江戸時代の村）が存在していました。

いつの時代も九州を東西・南北にはしる道路が基里地区内を通っていました。古代は基肆（きい）駅で「肥前路」と分かれた「薩摩（大隅）路」が筑後との国境に沿うように通り、中世は小倉から久留米府中に向かう「秋月街道」の肥前国への分かれ道が、近世は「長崎街道」から分かれた「ひた・ひこ山道」と「くるめ道」が通っていました。



鳥栖ジャンクション周辺

現在でも国道3号が南北にはしり、高速道路の九州縦貫道と大分・長崎道がこの地区で交差しています。今も昔も九州の交通要衝の地にあたるのが基里地区です。

基里地区には古くから人が住みつき、曾根崎の丘陵地や酒井西樋ノ口（といのくち）や飯田の微高地上には弥生時代中期（約2,000年前）の集落やお墓が見つかっています。曾根崎・姫方・原にはその後続く大規模な環濠集落などがみられ、合わせて甕棺墓も大量に出てきました。



姫古曾神社

古代の『肥前風土記』には、景行天皇が久留米高良山から見ると霧がかかっていたので「基肆郡」と呼ぶようになったことや、姫社郷（ひめこそそのさと）の姫古曾伝説や筑後川の川渡りにちなむ亘理郷（わたりのさと）伝説などがくわしく書かれ、古代、この地区が重要な地区であったことを示しています。これが後になって、基肆郡の里（基山に対して）にあたることから「基里」の地名が生まれています。

また、広く平坦な場所には条里制がしかれ、古くから豊かな水田地帯であったことが知られています。

侍が登場する時代（中世）になると、基里地区にも曾根崎・飯田などの地名を名字とする武士たちが文献に登場し、幡崎に佐々木氏、姫方に伊勢氏を名のる武将がかいま見えます。水屋に隣接する高田には筑後川水運にたずさわっていた高田次郎の名が見え、その子孫である善通入道（ぜんつうにゆうどう）は千栗八幡宮に『大般若経全600巻』を納めるほどの長者だったし、また、高田弾正（たかだぜんせい）を名のる人物は水屋正行寺（しょうぎょうじ）を再興したと伝えられています。



筑後川の川渡りにちなむ
亘理郷（わたりのさと）伝説

鎌倉時代、曾根崎氏は蒙古合戦で大きな手柄をたて、国東半島（田染（たぞめ）地区）に領地を得ました。（後には田染へ移り、大友家の家臣となっています。）



正行寺

江戸時代は基肄一郡・養父半郡が対馬藩の領地（田代領・基養父領）となり、基里地区は基肄郡下郷（しもごう）と呼ばれていました。領内でとれた米を対馬や大坂に船で運ぶために、水屋に「津出（ふなだ）し場」が設けられ水運が盛んでした。水屋を出た船は諸富榎津（えのきづ）で積み替え、筑後川を下り有明海から島原半島を廻り、平戸・壱岐島を経由して藩米は送られていました。田代領では地の利をいかして配置売薬が盛んで、江戸時代以降も基里地区に売薬を生業とする家も多くありました。

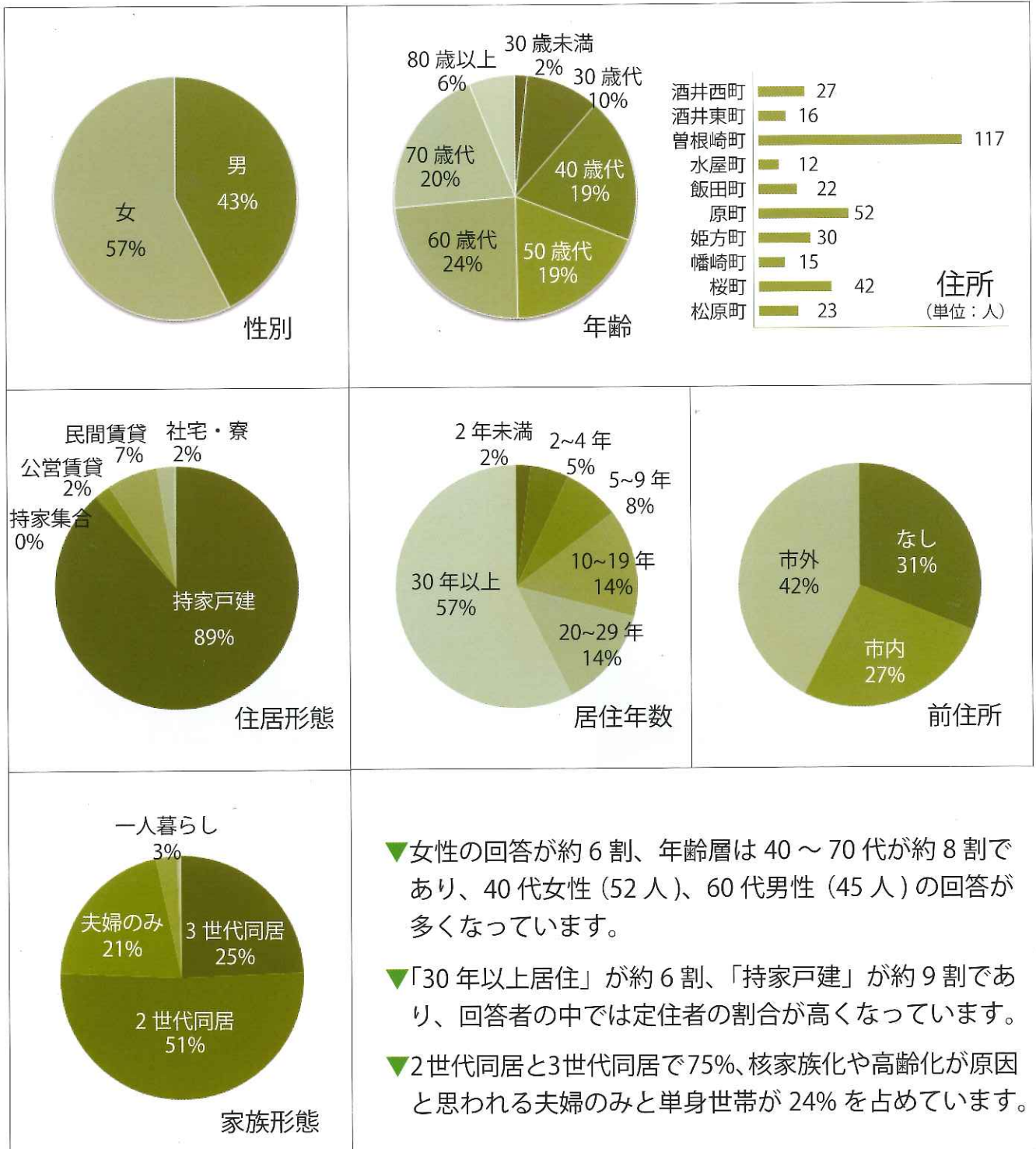
明治22年（1899）の市町村制施行では、それまでの8ヶ村で基肄郡基里村に、明治29年基肄郡・養父郡・三根郡で三養基郡となり、昭和29年（1954）、他の4町村と合併し鳥栖市の一部となりました。

著者：基里まちむら研究会

(4) アンケート等から考える基里の現状

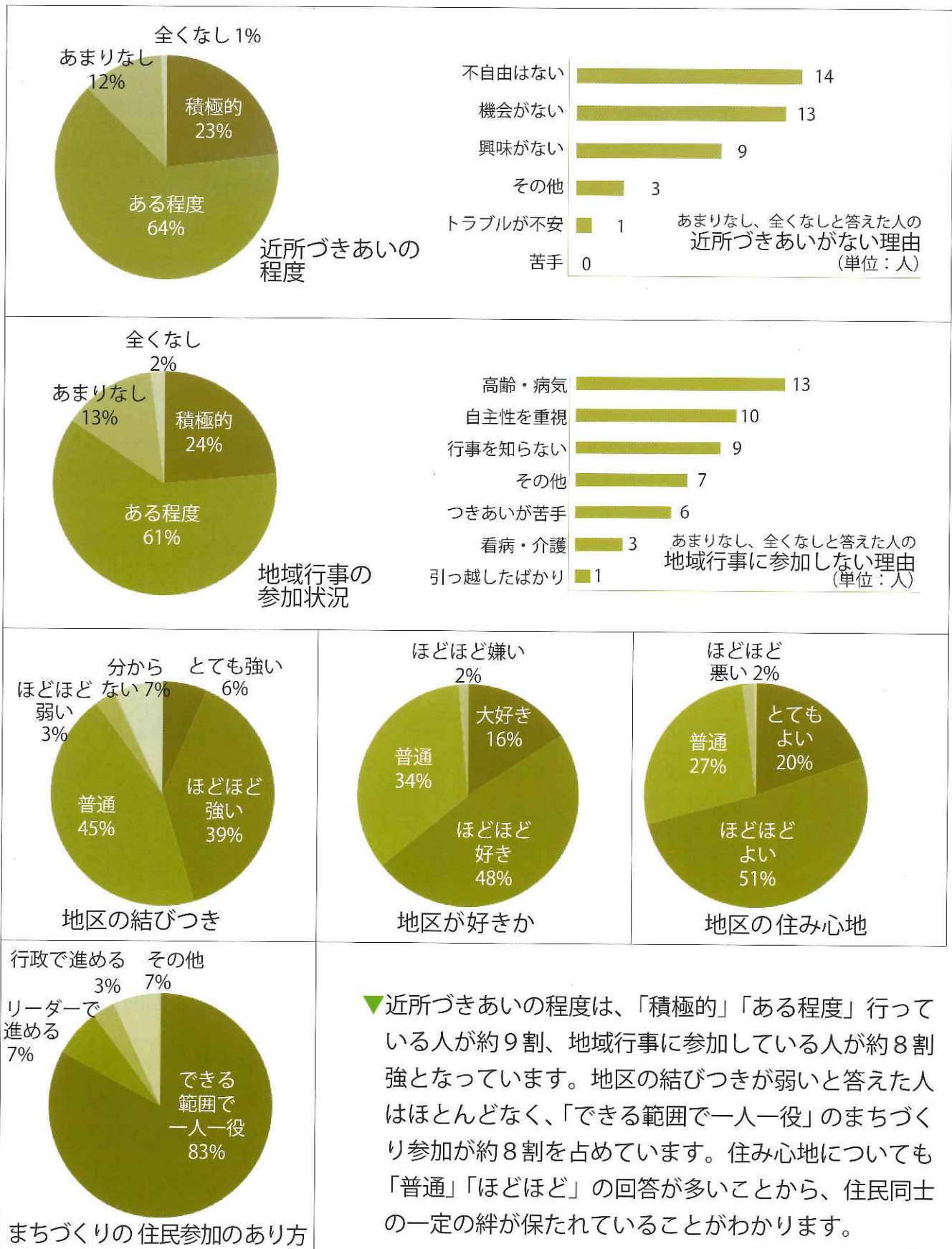
1) アンケートの概要

平成 23 年に、まちづくり推進協議会では、全世帯の 1 割以上にあたる 400 世帯にまちづくりに関するアンケートを配布し、356 世帯から回答をいただきました。

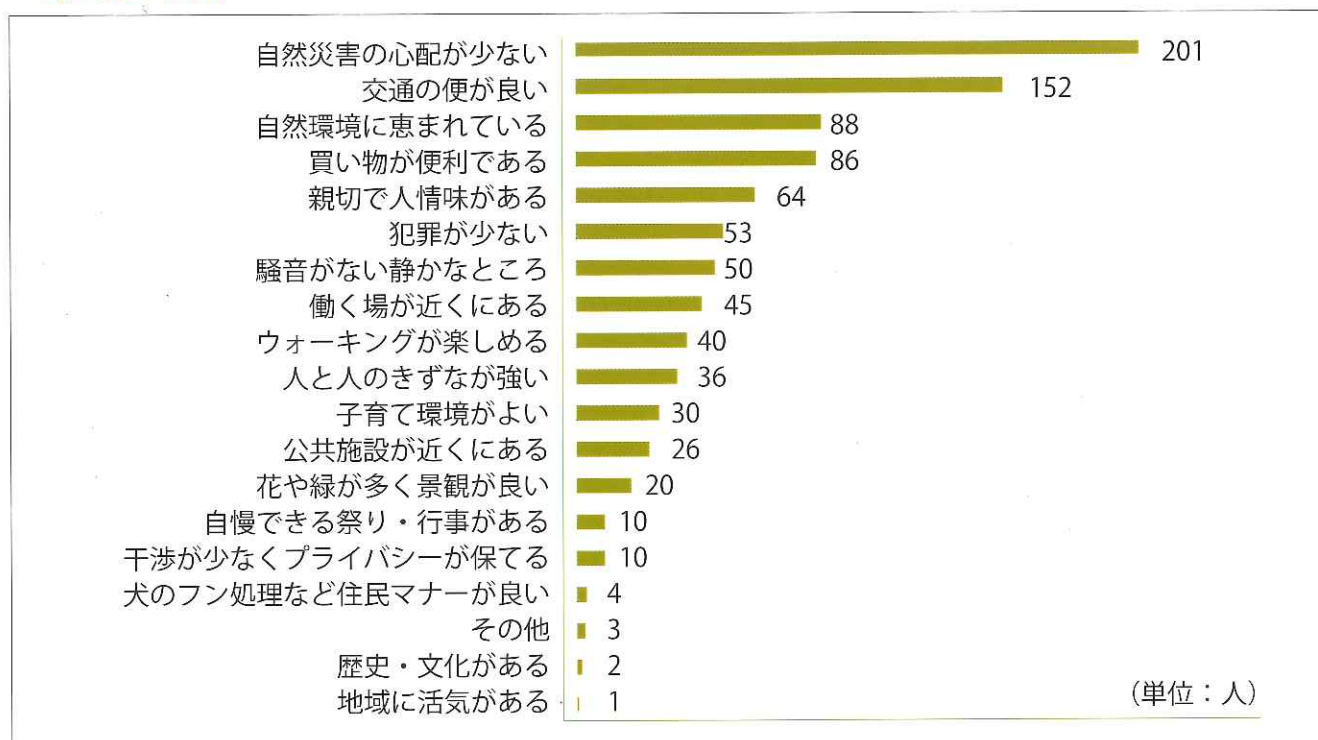


- ▼女性の回答が約 6 割、年齢層は 40 ~ 70 代が約 8 割であり、40 代女性 (52 人)、60 代男性 (45 人) の回答が多くなっています。
- ▼「30 年以上居住」が約 6 割、「持家戸建」が約 9 割であり、回答者の中では定住者の割合が高くなっています。
- ▼2 世代同居と 3 世代同居で 75%、核家族化や高齢化が原因と思われる夫婦のみと単身世帯が 24% を占めています。

2)地域に対する意識



3)基里の長所



▼災害心配が少ない（201件）

アンケートの回答では「自然災害の心配が少ない」が最も多く、災害に対し安心感があると考えられます。実際、基里地区では昭和28年の西日本大水害以来、60年近く大規模な災害を経験しておらず、災害が少ない地域と言えます。このため、災害に対する危機意識の低下が課題とも言えます。

▼交通の便がよい（152件）・買い物が便利（86件）・働く場が近くにある（45件）

基里地区は南北に長く東西に短い地形です。その中を縦断するように国道3号が通り、国道500号、九州自動車道、JRなども走っており、九州の交通の結節点となっています。

この交通の便の良さは、住民の利点として①商業地・行楽地へのアクセスの良さ②勤務地の広域化による雇用の確保などが挙げられます。

反面、幹線道路の渋滞のため、生活道路が抜け道として利用されるなど、通学路を中心に交通事故の危険性が高まっています。

▼自然環境に恵まれている（88件）

基里地区は、北部が物流拠点として整備されている一方、南部は昔ながらの田園風景が広がっています。

宝満川・大木川・山下川、秋光川など、多くの河川も流れており、アンケートでは自然環境の保全と美化を望む回答がありました。

▼親切で人情味がある（64件）

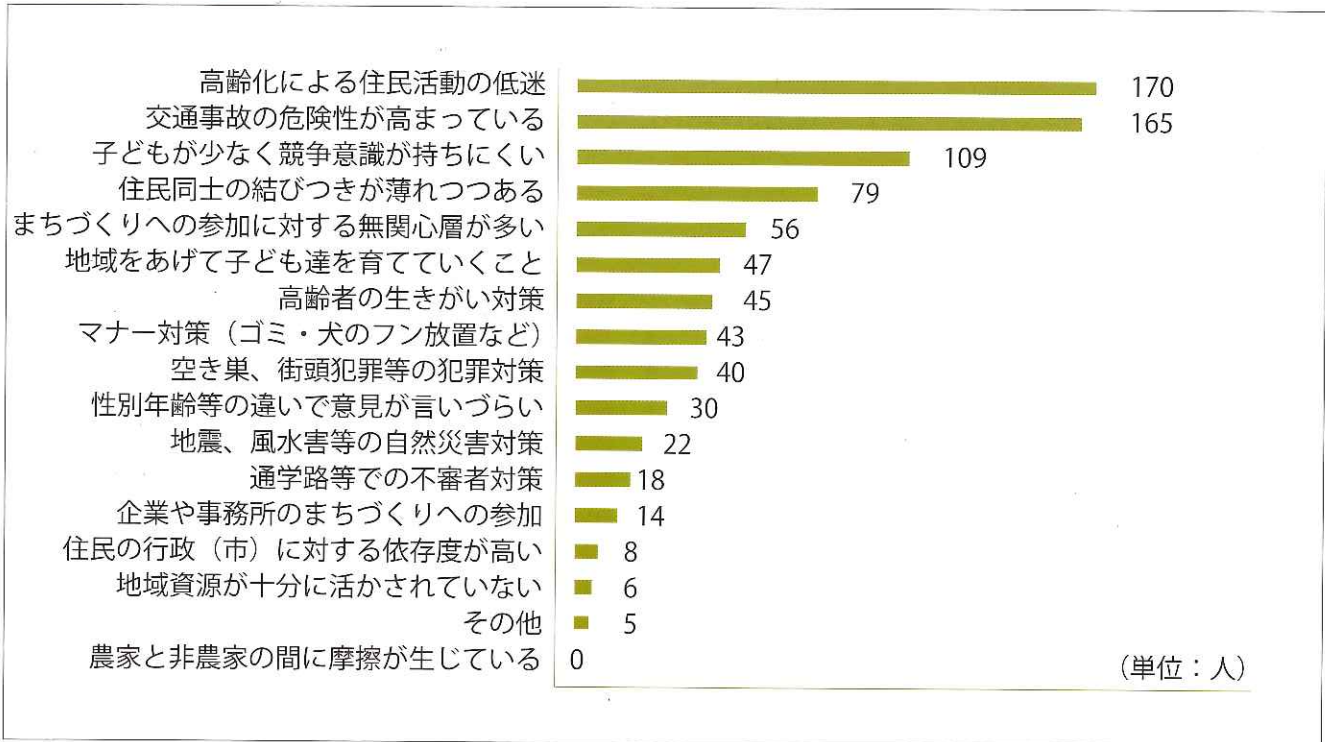
住民同士の一定の絆が保たれている基里地区では、『ご近所間の親切や人情を大事にし、結びつきが薄れたり無関心層が増えることに危機感をもっている人が多い』と言えます。

一般的に、生活の利便性が向上したことにより、昔は足りないものを補うために必須であった地縁・血縁などの人間関係が希薄になる傾向にあります。

しかし、災害や急病などの緊急時や防犯対策では、隣保班などの住民同士の人間関係が非常に重要です。

「優しさ」と「思いやり」と「ちよつとお節介」が地域の住みよさと活性化に欠かせないものであり、高齢化が進む基里地区にとって、その維持と継承が大切だと言えます。

4)基里の課題



▼高齢化による住民活動の低迷（170件）・ 高齢者の生きがい対策（45件）

基里地区は、鳥栖市の中でも、特に高齢化が進むと予測される地域です。高齢化により、支援（買物、掃除、避難）を必要とする人が増え、また、地域行事の担い手や参加者も減少していくと予想されます。

この高齢化によって発生する課題は、生活や地域に密着するものが多く、住民・地域・行政が連携しないと解決しない部分があるため、その連携と担い手の育成が大きな課題です。

▼子どもが少なく競争意識が持ちにくい （109件）・地域を挙げて子ども達を育て ていくこと（47件）

平成24年4月現在、基里小児童は384人、基里中学生は141人であり、その数は減少傾向にあります。

児童生徒数の減少は大きな課題であり、未就学児を含め、子ども達が健全に育つために、地域がどう関わり補完していくのか考えていく必要があります。

▼ゴミ・犬のフン放置などのマナー対策 （43件）

会議やアンケートで多かった意見は、ゴミやフン放置などのマナー対策です。特にフン放置箇所は公園や道路、土手など広範囲に渡り、地区外の人が放置するケースもあります。

この課題は全国的に問題になっており、他地区の取り組み事例を参考にしながら、ゴミや犬のフン放置対策を通じた環境美化意識の向上を図る必要があります。

▼その他の意見

住民同士の結びつきの希薄化や空き巣等の犯罪対策のほか、地域資源が活かされていないとの回答がありました。

地域資源については、その存在が知られていない可能性があるため、地域の歴史や資源を再確認し、周知する必要があります。



3 基里の将来像

(1) まちづくりの方向性

基里地区まちづくり推進協議会は、地域の方々へのアンケートや、PTA、老人クラブなどの世代や分野を超えた多くの団体の方々による意見交換を行いました。協議やアンケートの結果から基里地区の長所と課題をまとめると以下ようになりました。

長所

- ・ 災害の心配が少ない
- ・ 交通の便が良い
- ・ 自然環境に恵まれている
- ・ 親切で人情味がある

課題

- ・ 危機意識の低下
- ・ 交通事故の危険性が高い
- ・ 地域資源が活かされていない
- ・ ゴミや犬のフンなどのマナー対策
- ・ 高齢化による住民活動の低迷
- ・ 少子化対策

このように、長所と課題が一对のものも多くあり、いかにして長所を伸ばし、課題を解決するかが住みよいまちづくりにとって重要です。

基里地区は「利便性」や「環境のよさ」があり、「地域での絆とまちづくりへの主体性が維持」されています。この特徴を伸ばし、今以上に住みよいまちをつくっていくため、以下のとおり基本目標を定めました。

(2) 基本目標

住民同士のきずなが強く、互いを助け合う基里地区の良さを次世代へ継承するとともに、より幸せで豊かな住みよいまち



曾根崎の獅子舞



危険箇所の安全点検

(3)将来像

前項の基本目標を踏まえて、基里地区の将来像では、基里の長所である「きずなの強さ」「住みよさ」をより伸ばすために、次の**3つの柱**と**7つのテーマ**を掲げます。

■強いきずなを受け継ぎ助け合うまち

○きずなづくり

緊急時に地域で助け合える関係性がある
思いやりと笑顔にあふれている
地域ぐるみで楽しく暮らせる
気持ちよく挨拶を交わす

○地域活動の場づくり

多世代が自然に交流できる

■しあわせなまち

○健康づくり

健康に暮らしている

○高齢者・障がい者が暮らしやすいまちづくり

高齢・独居でも穏やかに住める
高齢の方が生き生きとしている

基本目標

住民同士のきずなが強く、
互いを助け合う基里地区の
良さを次世代へ継承すると
ともに、より幸せで豊かな
住みよいまち

■ゆたかですみよいまち

○子育て環境づくり

地域ぐるみで子育てできる
親同士がつながっている
地域の子どもを知っている
心優しいひとづくり
子どもが増える

○美しい故郷づくり

緑が多く、花が咲き、魚が住む川がある

○安心して暮らせるまちづくり

安全で住みやすい
飲酒運転をなくしたい
安全な道路
地域ぐるみで見守っている



4 まちづくり基本計画

基里地区の課題・将来像から、今後10年間について、まちづくりの基本計画を以下のとおり定めます。

■強いきずなを受け継ぎ、助け合うまち

○きずなづくり

住民同士が、お互いを大切にし、支え合い、助けあうことで、地域の絆は深まり、より楽しく豊かな生活を過ごすことができます。そして、災害などに直面した時、「話せる」「助け合う」間柄であるためには、普段から「顔の見える関係」であることが大切です。

基里まち協では、世代・趣味・興味を超えて、「顔を知っている」「挨拶する」「助け合う」関係性を保つため、地域で交流する機会をつくります。

○地域活動の場づくり

地域活動とは、地域の皆さんが顔をあわせ、交流と地域環境の向上を図ることといえます。多くの方がアンケートで課題とした通り、高齢化や個人の意識の変化などによって、近年、地域活動の担い手や参加者は減少しています。

基里まち協では、現在の社会形態にあった地域活動を考え、基里地区ならではの横のつながりを強める活動を進めていきます。

■しあわせなまち

○健康づくり

幸せな生活をおくるために、まず心身が健康であることが大切です。鳥栖市では「がん」や「脳血管疾患」で亡くなる方が約5割を占めます。これらの病気は健診の受診による早期発見と定期的な運動により予防が可能です。鳥栖で1番「健康なまち」を目指し、地域でできることに取り組みます。

○高齢者・障がい者が暮らしやすいまちづくり

高齢化は将来の基里地区にとって大きな課題です。基里地区の人口と世帯数は、平成24年6月末現在7,542人、2,829世帯であり、このうち、65歳以上は1,715人(22.7%)、75歳以上は860人(11.4%)です。地域高齢化の課題としては、生きがい対策、緊急時の避難支援、外出支援、生活支援などがあげられます。

これは障がい者にとっても共通の課題と考えられます。基里まち協では、高齢・障害という生活弱者と地域との関わりを深めることにより、高齢でも障害を持っていても安心して暮らせるまちを目指します。

■ゆたかですみよいまち

○子育て環境づくり

基里地区は、小中一貫教育の先行地区であり、教育方針の統一によるメリットがある一方、児童生徒数の減少により競争や交流の機会が少なくなるなどの心配もあります。子ども達の生きる力を育むためには、違う年代の子どもや大人との多様なコミュニケーションの場の提供が課題です。

未就学児では、核家族化による子育ての孤立化が課題です。その解決のために地域ぐるみの子育てをいかにして実現するか検討が必要です。

次世代を担う基里の子ども達が、地域と共に健全に育ち、故郷の思い出が多く残り、鳥栖に、そして基里に生まれてよかったと思えるまちとなることを目指します。

○美しい故郷づくり

基里地区は先人が培ってきた歴史あるまちです。アンケートでも、基里地区の自然環境の良さとその継承を望む意見が多くありました。その景色と匂いは基里共通の思い出となります。その歴史や景色を引き継ぐためには一人一人の守ろうという意識が大切です。歴史や自然を守りつつ、これらの地域資源の活用を図ることにより、美しい故郷づくりを目指します。

○安心して暮らせるまちづくり

基里地区の中央を、国道3号が南北に縦断し、慢性的な交通渋滞が発生しています。そのため、地区内の生活道路では通り抜けが発生し、近隣住民の移動や子ども達の通学にとって危険な状況が続いています。

防犯面では、夜間の照明の不足、空き家対策などがあげられます。

防災面では、基里地区は大木川・山下川・秋光川・宝満川という多くの川に囲まれており、昔から多くの洪水が起こっています。昭和28年に大規模な洪水が発生して以降、治水対策により河川の氾濫は起こっていませんが、近年、集中豪雨が多発していることを考えると、避難場所の確認と万一の備えをしておくことは必要です。さらに、何かあった時のため、地域の連携と交流を深めておくことが大事です。

住民の皆さんが安心して暮らすためには、この他にも数多くの課題があります。これらの課題に対し地域が一体となり、情報の共有と課題解決を図っていきます。

5 まちづくり基本計画の実現に向けて

まちづくりの実現に向けて、目標達成や課題解決のための取り組みを、現状やその難易度

(1)強いきずなを受け継ぎ、助け合うまち

テーマ	取組	担当部会	既存事業
きずなづくり	多世代交流	地子	地区文化祭、各種スポーツ大統・伝承行事
	地域で声かけしやすい環境づくり	全	地区文化祭、各種スポーツ大、子ども110番の家、清掃活
	公民館や公園などの場の活用	地健子	地区文化祭、各種講座、サークいきサロン
	外国人と地域の融和	地安子	
地域活動の場づくり	行事や活動の広報強化	全	町区回覧、公民館だより、まち
	参加者不足の解消	全	
	担い手の育成	全	

(2)しあわせなまち

テーマ	取組	担当部会	既存事業
健康づくり	健康情報を知る	健	
	運動しやすい環境をつくる	健	各種スポーツ大会、各種スポー
	食生活改善の推進	健	料理教室(子ども向け、男性向
	生涯学習の推進	全	地区文化祭、伝統行事、各種講
高齢者・障がい者が暮らしやすいまちづくり	生きがい対策	健	いきいきサロン、各種講座、各
	安心して暮らせる環境づくり	健	ふれあいネットワーク、災害
	だれもが運動できる環境づくり	健	各種スポーツ大会、各種スポ

(3)ゆたかですみよいまち

テーマ	取組	担当部会	既存事業
子育て環境づくり	学校の現状を地域で共有する	子	地域公開授業
	子ども達を地域で見守る	安子	防犯パトロール、見守り隊、交
	子育て支援が必要な方の把握	子	出前ひろば、園庭開放
	未就学児の子育て・教育支援	子	出前ひろば、園庭開放
	子どものふれあい遊び場づくり	地子	出前ひろば、園庭開放、ふれ空教室、放課後子供教室、遊
	少子化と活性化対策	子	
美しい故郷づくり	環境美化	地	清掃活動
	歴史の伝承	地	歴史教室、伝統・伝承行事
安心して暮らせるまちづくり	道路の危険個所の点検	安	通学路点検
	避難場所の周知	安	
	交通マナー対策	安	自転車教室、交通安全教室
	防犯対策	安	防犯パトロール
	防災対策	安	消防団、自主防災組織、防災
	空き家対策	安	

※(地)=地域環境部会、(健)=健康福祉部会、(安)=安全安心部会・(子)=子育て・教育部会

などに応じて、短期（～2年）・中期（3～5年）・長期（6～10年）に分けました。

	期間	新規事業
会、各種スポーツ教室、伝	短期	大もちつき大会 地区がひとつになれるイベント（運動会・盆踊りなど）
		あいさつ推進
会、交通指導、防犯パトロー ル活動、出前ひろば、いき	中期	公園等公共施設の利活用の推進
	長期	外国人との交流促進
協だより	短期	まち協だよりの充実
	中期	ホームページの開設
	中期	行事の整理と共同開催、行事の参加体制のネットワークづくり、 参加者目線の行事づくり
	長期	地域の人材発掘、指導者育成、子育て世代の参加促進

	期間	新規事業
ツ教室 け)	短期	健診の受診推進、うらら健康マイレージの推進
		ウォーキングコースをつくる
		料理教室の対象者の拡充
座、各種サークル		地域課題と連携した講座の開催
種サークル 時要援護者の把握 ーツ教室	短期	地域の人材発掘（シニア世代の地域参加促進）
		地域の人材発掘（シニア世代の地域参加促進）
		ウォーキングコースをつくる

	期間	新規事業
通指導、子ども110番の家	短期	学校行事の地域参加
		危険個所点検と安全マップの作成、登下校時の見守り体制の整理
	中期	ぼっぼ・ママかふえ、子育て支援センター・ファミリーサポートセンターの活用
	中期	ぼっぼ・ママかふえ、子育て支援センター・ファミリーサポートセンターの活用
あい体験学習会、夏休み青 びの日交流会	短期	大もちつき大会
	短期	犬の糞対策
	短期	危険個所点検と安全マップの作成
	短期	危険個所点検と安全マップの作成
フェスタ	中期	飲酒運転の撲滅
		危険個所点検と安全マップの作成
		食糧備蓄の推進、防災（避難）訓練
	長期	危険個所点検と安全マップの作成

6 参考資料

(1) 人口の詳細

○年齢別人口の推移

(単位：人)

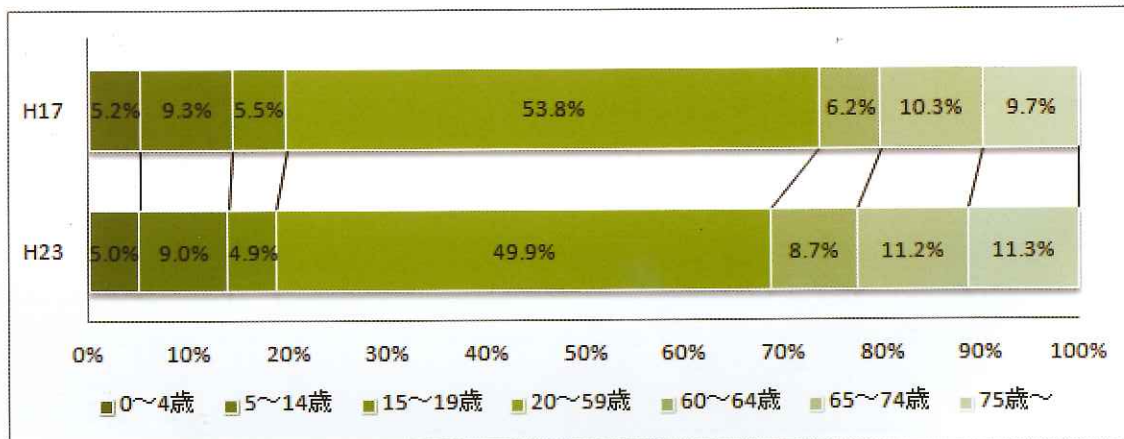
年	年齢							計
	0～4	5～14	15～19	20～59	60～64	65～74	75～	
H17	406 (100)	726 (100)	429 (100)	4,218 (100)	486 (100)	811 (100)	763 (100)	7,839 (100)
H18	400 (99)	729 (100)	398 (93)	4,177 (99)	457 (94)	814 (100)	805 (106)	7,780 (99)
H19	403 (99)	687 (95)	422 (98)	4,107 (97)	496 (102)	824 (102)	821 (108)	7,760 (99)
H20	402 (99)	656 (90)	423 (99)	3,977 (94)	558 (115)	816 (101)	836 (110)	7,668 (98)
H21	410 (101)	665 (92)	414 (97)	3,973 (94)	581 (120)	836 (103)	856 (112)	7,735 (99)
H22	374 (92)	697 (96)	375 (87)	3,777 (90)	633 (130)	829 (102)	849 (111)	7,534 (96)
H23	374 (92)	678 (93)	368 (86)	3,753 (89)	654 (135)	842 (104)	849 (111)	7,518 (96)

※人口はいずれも12月末現在

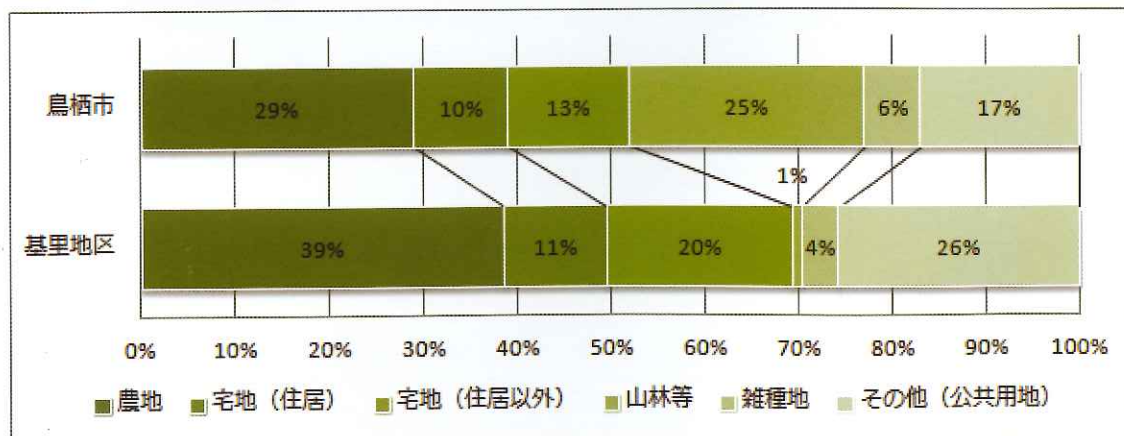
※()内はH17を100とした時の数値

○年齢別人口の割合

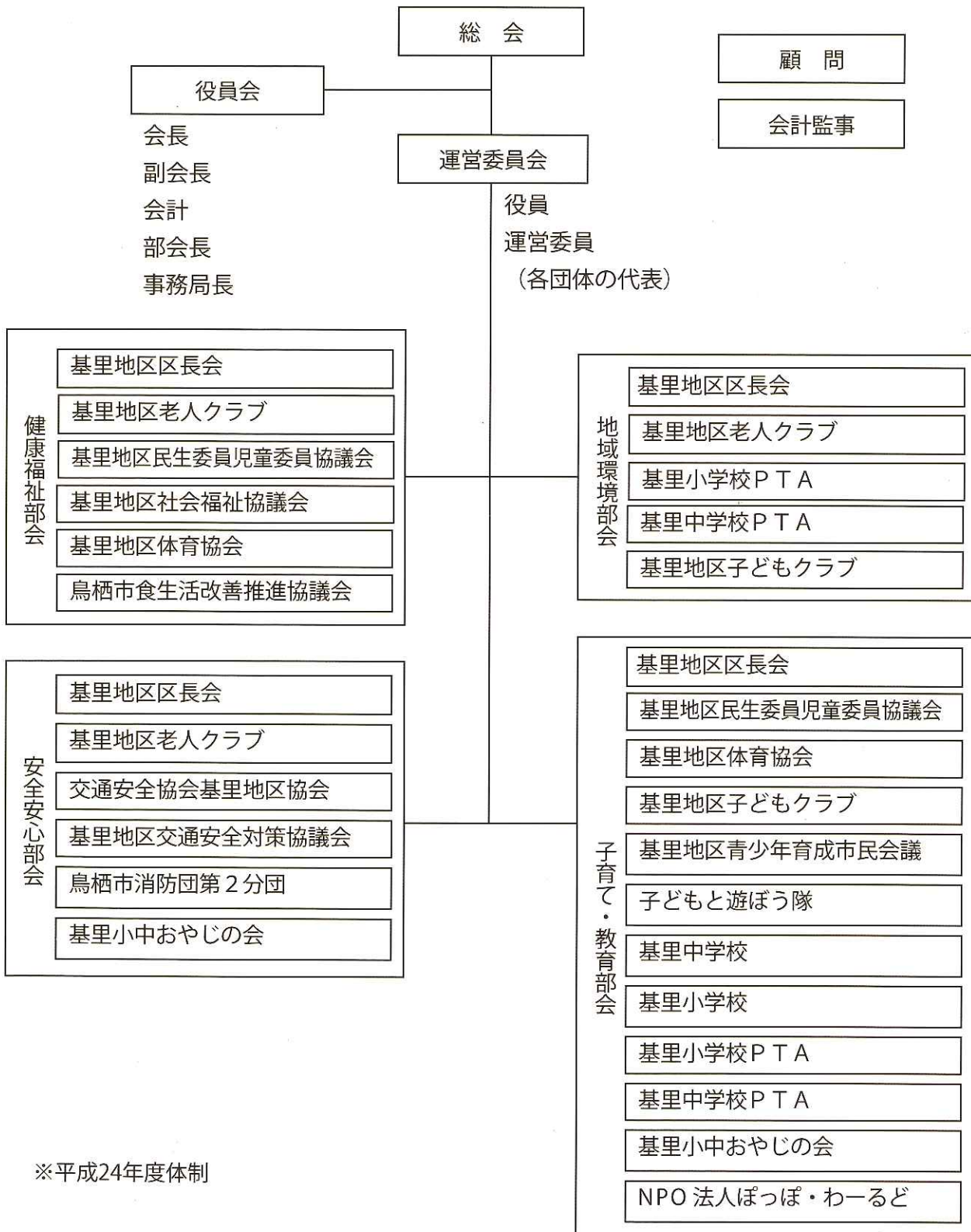
(単位：%)



(2) 土地の利用状況



(3) 運営体制



※平成24年度体制

(4) 計画が出来るまで

《平成23年》

- 6月 基里地区まちづくり推進協議会設立
- 8月 第1回の専門部会を開催し、部会長・副部会長を選出
- 9月 活動の基礎となる住民アンケートについて、専門部会で質問内容を検討し、策定委員会でまとめ、各団体を通じて400部配布

10～11月

専門部会で各団体の活動紹介及びその課題を抽出
配布した住民アンケートを随時回収し、集計

- 12月 回収したアンケートを集計し、専門部会で配付

《平成24年》

- 2月 住民アンケートをもとに専門部会で意見交換
- 3月 専門部会で出た意見をもとに重点課題を選定
- 4月 重点課題からすぐできる事業を選定
- 5月 定期総会で推進計画の9月末作成目標を決定
- 6月 これまでの計画作成内容の確認
今後の作成スケジュール確認

7～8月

策定委員会でまとめた「まちづくり推進計画」案について、専門部会で協議

- 9月 臨時総会で「まちづくり推進計画」を決定

表紙題字 酒井雅子さん

歴史著者 基里まちむら研究会

写真協力 山内康生さん

発行 平成25年2月

基里地区まちづくり推進協議会

基里まちづくり推進センター

住所：佐賀県鳥栖市曾根崎町1362番地

電話：0942-82-3324

基里まちづくり推進センター分館

住所：佐賀県鳥栖市原町831番地

電話：0942-82-6347



子ども奉納相撲 (酒井西町)



たほめ (酒井東町)



獅子舞 (曽根崎町)



敬老会 (水屋町)



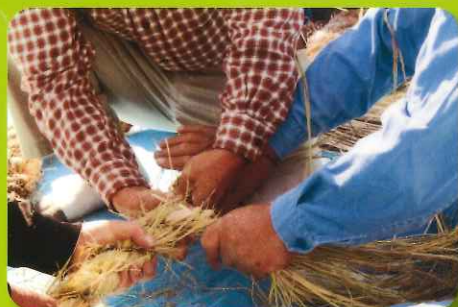
河川清掃 (飯田町)



ほんげんぎょう (原町)



敬老会 (姫方町)



しめ縄づくり (幡崎町)



敬老会 (桜町)



防災訓練 (松原町)